

管理運営評価シート(令和5年度)

施設名称	神林地区体育施設(9施設)	評価対象年度	令和 5 年度
指定管理者名	NPO法人希楽々	所管課	生涯学習 課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	平山 祐子

1 令和5年度の実績

(1)事業実績

利用実績	利用者数(9施設):98,131人、スポーツ事業:14事業実施(参加者数3,534人)
サービス向上の取組	・幼児から高齢者までが集うことができる自主事業の実施。 ・地域住民の利用促進のため、トレーニング器具等を自前で設置している。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (3年度)	前年度 (4年度)	当該年度 (5年度)	合計	備考		
収入	指定管理料	53,580	59,850	58,995	172,425	基本協定額:	287,398	千円
	利用料金	1,729	1,683	2,077	5,489			
	事業収入	494	983	1,237	2,714			
	自主事業収入	4,826	5,324	6,556	16,706			
	その他				0			
	収入合計 ①	60,629	67,840	68,865	197,334			
支出	人件費	18,549	19,194	20,682	58,425			
	福利厚生費	3,010	2,655	3,283	8,948			
	事務費	1,032	1,052	1,159	3,243			
	管理費	25,053	31,169	31,224	87,446			
	水道光熱費	7,296	12,508	11,145	30,949			
	修繕料	1,581	1,604	1,619	4,804			
	使用料・リース料	1,727	2,884	3,263	7,874			
	手数料・保険料	95	92	90	277			
	委託料	14,354	14,081	15,107	43,542			
	事業費	2,430	2,053	2,307	6,790			
	自主事業経費	4,289	5,006	5,776	15,071			
	その他	1,881	1,897	2,001	5,779			
	支出合計 ②	56,244	63,026	66,432	185,702			
収支差額(①-②)		4,385	4,814	2,433	11,632			

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	◎	○	定期利用団体に対しては前年度の利用状況に応じて割り振り、当該年度の円滑利用、利用率の向上につなげた。
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	◎	○	自主事業の中でバスの送迎を行うことや、障がい者用の駐車場の完備を行っている。
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	◎	○	スポーツクラブとして様々な方が参加できるプログラムを提供している。
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	◎	○	自前のトレーニングゾーンを設置し、利用者アンケートの結果をもとに新しい器具を取り入れている。
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	◎	○	SNSを活用した周知を行っている。
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費削減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	◎	○	外注する管理業務の一部を職員が行い、日頃から目の行き届く管理を行っている。
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	◎	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	◎	○	公認上級スポーツ施設管理士 公認クラブマネジャー 資格保有者有
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	◎	○	クラブマネジャーの世代交代に向け、役職のある職員が法人運営全般を理解するよう人材育成に取り組んでいる。
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	◎	○	他施設の管理や一般介護事業委託なども受託している。
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	◎	○	プール開放時の安全な人員体制 クライシスマネジメント表を設置している。
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	◎	○	クライシスマネジメントの対応を職員間で共有している。
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	◎	○	地域住民が多く参加できるイベントの開催や他団体と連携した事業を展開している。

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1)指定管理業務実施上の課題	
	・施設の老朽化(アリーナの結露、雨漏り、柔剣道場の排煙窓の不良、自動開閉カーテンの不良、野球場のスコアボード、外野フェンスの老朽化、プールのスライダーの鉄骨基礎の老朽化、多目的グラウンド、芝生広場の沈下など) ・修繕費の不足 ・駐車場不足と夜間の街灯不足 ・大規模災害時の対応 ・スポーツ大会、イベントやその他イベント等の利用希望が市内外から多数あり、調整に苦労する
(2)課題解決に向けた取組	
	・外注する修繕をなるべく自主で行うようにしている。外注する修繕に関しては緊急性の高いものから順次修繕しているが、施設の老朽化進んでいるため、年々修繕箇所が増えてきていて、高額な修繕も必要となってきた。また、部品などの価格高騰で、以前取った見積りとの金額の差が生じている。 ・駐車場に関しては、体育館周りの駐車場を開放して使ってもらっているが、80台程しか止められない。そのため、体育館と多目的グラウンドの利用が重なる場合は安全を考慮し駐車規制を行っている。 ・街灯不足については、LEDへの変更やそれに伴う工事費用の見積りは取っているが、高額なため手を付けられていない。 ・施設の利用調整については、スポ少や法人事業を調整し、平等性を保つため努めている。
(3)その他	
①利用者からの主な意見や苦情、対応策	
	・「除草剤を使うな」と言う意見をいただいたが、その後、バーナーを利用している。 ・「駐車場が少ない」と言う意見が多いが、改善センターの駐車場を借りて対応している。しかし、イベントが重なると足りなくなる。 ・アリーナの冷暖房を直して欲しいと言う声も多いが、高額なため直す見込みが立たない。
②その他	

4 全体的な評価

(1)指定管理者の評価	
	・神林総合運動公園、特に神林総合体育館は高速道路とのアクセスが良く、市外の団体や、大きなスポーツ大会等の開催の希望が多い。 ・地域住民も神林地区のみならず、村上市内の子どもから高齢者までが多様な利用が出来るよう、工夫を凝らし事業を展開している。 ・体育施設ではあるが、地域行事やスポーツ以外のイベントの開催にも力を入れ、体育施設がスポーツをやらない人にとっても身近な存在になるよう創意工夫を凝らしている。
(2)施設所管課の評価	
	指定管理者側で災害等に対する危機意識を持って、クライシスマネジメントを導入するなど危機管理への対策を講じていることは非常に良い。 また、駐車場が狭い環境下で、大規模な大会等があった場合でも工夫をしながら対応しているほか、障がい者用の駐車スペースを設けたり、機器類の整備を図るなど、利用者の声に耳を傾け、誠実に対応しており、評価できる。 原油価格高騰等の影響から思うような修理・修繕が困難な中でも指定管理者の自主的な努力により協定書及び事業計画に則った施設管理、事業展開が図られていると認められる。
(3)次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)	
	引き続き、適正な施設管理と利用者等への利便性やサービスの向上に努めてもらいたい。 利用者の声を踏まえ、事業の改善や見直し、又は新たな事業を企画立案、展開するとともに、地域貢献、地域福祉の増進を図るなど、一層の取組をお願いする。 また、更なる収入の確保と経費節減に努め、創意工夫しながら施設管理・運営に努めてもらいたい。